

【証券コード：9783】

第70期 株主通信

2023年4月1日－2023年9月30日

Benesse Family

ベネッセファミリー Vol.57



株式会社 ベネッセホールディングス

<https://www.benesse-hd.co.jp/ja/>

株主の皆様へ



誰もが一生、成長できる。
自分らしく生きられる世界へ。
ベネッセは目指しつづけます。

代表取締役社長 CEO

小 泉 仁

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「Benesse=よく生きる」という企業理念のもと、その具体的な活動のよりどころとして、グループパーパス「誰もが一生、成長できる。自分らしく生きられる世界へ。ベネッセは目指しつづけます。」を制定しました。また、当期は当社グループを取り巻く急速な環境変化を踏まえ、中期経営計画「FY2021-2025」をブラッシュアップした「変革事業計画」を策定し、事業ポートフォリオの変革と経営改革に全社をあげて取り組んでいます。

当上半期の業績は、売上高2,035億円（前年同期比0.8%増）、営業利益は114億円（前年同期比7.9%増）と前年同期比で増収増益となりました。

増収の主な要因は、「進研ゼミ」及び国内と中国の「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数減少による減収があったものの、介護・保育事業における新規拠点開設に伴う顧客数の増加及び価格改定、中国の「こどもちゃれんじ」において、同国のゼロコロナ政策により前年同期に事業活動を一時停止した影響、「進研ゼミ」及び国内の

「こどもちゃれんじ」の価格改定、学校向け教育事業及び大学・社会人事業の受注増等による増収があったことによるものです。増益の主な要因は、増収によるものです。

また、中間配当金は予定通り30円といたしました。

<当社の普通株式等に対する公開買付けに関して>

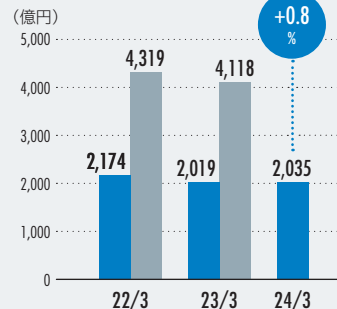
なお、2023年11月10日付で公表された、マネジメント・バイアウト（MBO）実施の一環として行われるブルーム1（株）による当社の普通株式等に対する公開買付けに関して、同日時点の当社の意見として、本公開買付けに関して、賛同する旨の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対し、本公開買付けへの応募を推奨する旨を決議いたしました。また、本公開買付けの予定を踏まえ、同日付で当社は、期末配当は行わないこと及び2024年3月期より株主優待制度を廃止することを決議いたしました。

なお、本公開買付けは、今後各国競争法等に基づく必要な許認可取得の完了等を経て開始される予定ですが、株主の皆様におかれましては、今後の開示書類等もご参照の上、ご検討を賜りますようお願い申し上げます。

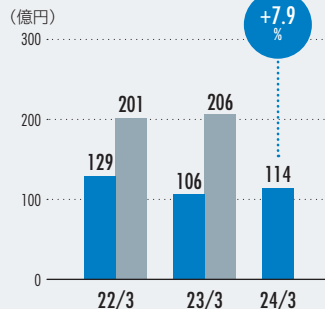
連結業績ハイライト

■ 上半期 ■ 通期

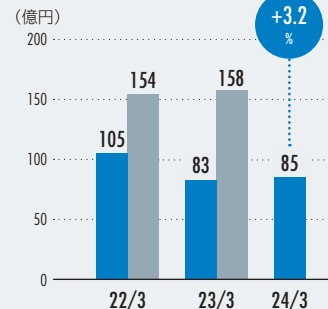
売上高



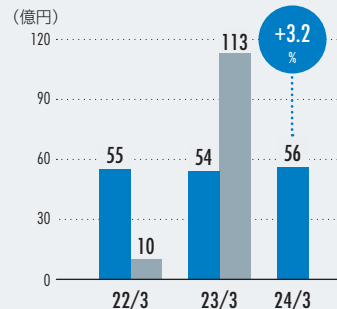
営業利益



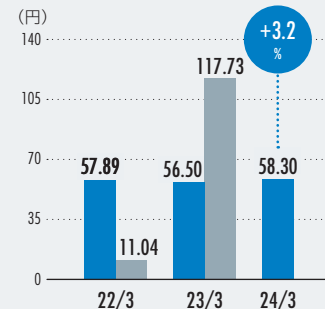
経常利益



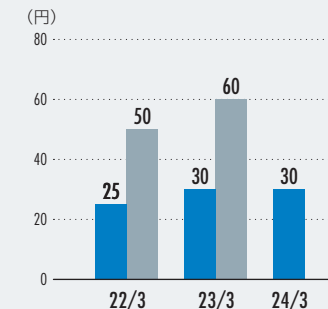
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



2024年3月期の連結業績予想

売上高は、「進研ゼミ」及び国内の「こどもちゃれんじ」の4月会員数が前年同期より減少したものの、高齢者向けホーム数の拡大等による介護・保育事業の伸長に加え、国内教育各事業の価格改定、学校向け教育事業、及び大学・社会人事業の伸長等により増収を予想しています。

利益面は、増収による増益等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも増益の見通しです。

連結業績予想

(億円)

	23/3	24/3 (予)	前期比増減率
売上高	4,118	4,230	2.7%
営業利益	206	215	4.3%
経常利益	158	160	0.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	113	115	1.3%
1株当たり当期純利益 (円)	117.73	119.24	1.3%

事業領域別の概況

国内教育



- (株) ベネッセコーポレーション
- 通信教育事業「進研ゼミ」国内「こどもちゃれんじ」
- 「進研模試」を中心とした学校向け教育事業
- (株) 東京個別指導学院
- (株) アップ 等
- 学習塾事業
- (株) ベネッセベースタジオ
- 子ども向け英語教室事業

Classi (株)

- 教育プラットフォームの開発・運営事業

売上高

減収 (-3.7%)

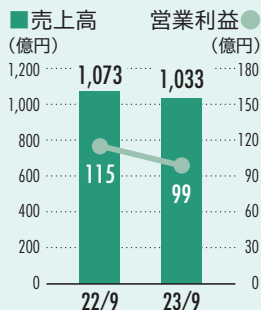
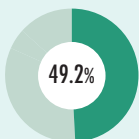
- 「進研ゼミ」国内「こどもちゃれんじ」の延べ在籍数減少による減収
- 「進研ゼミ」国内「こどもちゃれんじ」の価格改定、学校向け教育事業の受注増

営業利益

減益 (-13.3%)

- 減収による減益

事業別売上高構成比



介護・保育



- (株) ベネッセスタイルケア
- 入居介護サービス事業（高齢者向けホーム及び住宅運営）
- 在宅介護サービス事業
- 保育園・学童運営事業
- (株) ベネッセMCM
- 介護・医療の人材派遣／紹介事業
- (株) ベネッセパレット
- 配食サービス・介護食サービス
- (株) ハートメディカルケア
- 介護・医療の人材紹介事業
- 介護・福祉のメディア事業
- 福祉用具販売・レンタル事業

売上高

増収 (+5.6%)

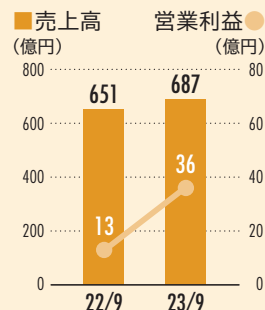
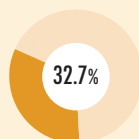
- 高齢者向けホーム・住宅数の拡大、価格改定による増収

営業利益

増益 (+158.8%)

- 増収による増益

事業別売上高構成比



(注1) 各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高が含まれています。
 (注2) 組織変更に伴い、2023年9月期からセグメント区分の変更を行いました。
 2022年9月期の数値は、変更後の区分方法により作成しています。



決算資料・決算説明会の様子をご覧いただけます。

大学・社会人



- (株) ベネッセコーポレーション (株) 進研アド
 ・オンライン教育プラットフォーム事業「Udemy」
 ・留学支援サービス事業
- (株) 進研アド
 ・大学支援事業
- (株) ベネッセi-キャリア
 ・キャリア形成支援サービス事業

売上高

増収 (+5.6%)

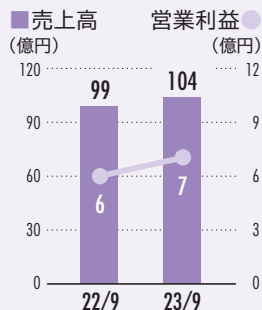
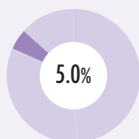
- 「Udemy」の受注増等による増収

営業利益

増益 (+13.2%)

- 増収による増益

事業別売上高
構成比



その他



- (株) ベネッセコーポレーション 倍楽生商貿 (中国) 有限公司
 ・雑誌出版事業
 ・中国での通信教育事業
- (株) ベネッセホールディングス
 ・台湾等での通信教育事業
 ・直島事業

売上高

増収 (+0.4%)

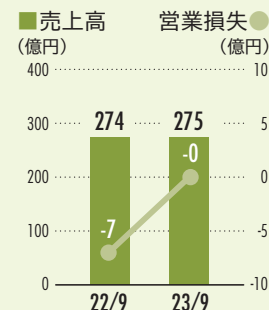
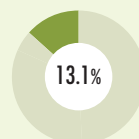
- 中国のゼロコロナ政策により前年同期に事業活動を一時停止していた影響による増収
 - (株) ベネッセインフォシエルの合併影響による減収
- ※2023年7月1日付で(株) ベネッセインフォシエルを(株) ベネッセコーポレーションに吸収合併

営業利益

損失縮少

- 増収による増益
- (株) ベネッセインフォシエルのコスト削減

事業別売上高
構成比





ベネッセグループ変革事業計画

グループパーパスを起点に持続的利益成長の実現を目指します

2023年2月、当社はグループパーパスを公表しました。急速に変化する事業環境の中、グループパーパスの実現かつ当社グループの持続的利益成長を目指すため、2023年5月に2028年度までの中長期的な企業価値向上を見据えた「変革事業計画」を策定し、全社をあげて推進しています。2020年11月に中期経営計画を発表しましたが、当社グループ及び各事業を取り巻くさまざまな環境変化を踏まえ、中期経営計画をブラッシュアップした内容が変革事業計画です。

変革事業計画が目指すこと

1. 人を軸にした社会課題の解決に圧倒的に取り組んでいる企業グループ
2. ポートフォリオ構造の変革を通して、持続的利益成長を目指す
3. 「コア教育」「コア介護」「新領域」が“利益の3本柱”となる状態を実現



CHECK!

変革事業計画の詳細はこちらをご覧ください。

目指す方向

グループ
パーパス

誰もが一生、成長できる。
自分らしく生きられる世界へ。
ベネッセは目指しつづけます。

ポートフォリオ 変革

財務 KPI

営業利益*

FY25

320億円以上

ROE

FY25

10%以上

新領域売上高

FY22-25

FY25時点で2倍(対FY22比)

FY28を目指すポートフォリオ構造

「コア教育」「コア介護」「新領域」の3本柱でバランスよく利益を創出している状態*

※今後行うM&Aから生じるのれんは含まず

ポートフォリオ戦略

コア事業の変革
(コア教育)

コア事業の変革
(コア介護)

新たな成長への挑戦
(新領域)

マネジメントシステム変革

コーポレート変革

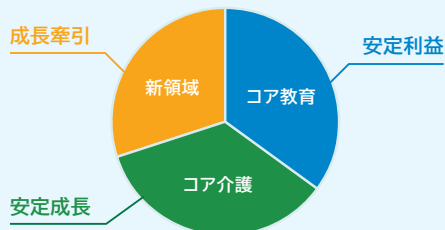
実現に向けた 経営の仕組み

ポートフォリオ構造の変革を通し持続的利益成長を実現

目指す姿 (FY28~)

3本柱の利益構造による持続的利益成長

▶ 「コア教育」「コア介護」「新領域」の3領域がバランスよく利益創出している状態



※コア教育=校外学習+学校+こどもちゃれんじ+生活関連(たまひよ等)、コア介護=介護・保育施設、新領域=大学・社会人+介護周辺+海外

現中期経営計画の目標 (FY25)

目指す姿からのバックキャストでFY25に目指す状態

コア教育

構造改革・ニーズ多様化対応等で
収益安定化、
さらに事業モデル変革に着手

コア介護

コロナ禍前の
入居率/利益水準へ
早期回復し安定成長軌道へ

新領域

FY26以降の
利益成長牽引に向けた
戦略投資と売上成長

キャッシュアロケーションと投資配分

※2023年5月19日変革事業計画発表時点の計画です。

投資計画は新領域に約50%をアロケーション、コア事業変革の投資もROIを検証しながら実行する

▶ キャッシュアロケーション (FY23-25)

FY23-25の3年累計キャッシュポジション約**1,240億円**

用途① コア事業変革に向けた投資

事業投資
(CAPEX等)
※リース資産・長期前払費用等を除く
(目安) **500億円**

用途② 新領域の成長に向けた投資

事業投資
(M&A、CAPEX等)
(目安) **530億円**

用途③ 株主還元と財務基盤の強化

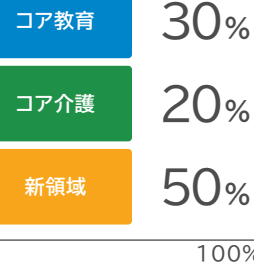
【株主還元】
配当性向35%を下限とし、税引後
純利益増により継続的な増配へ

【財務基盤強化】
FY25 自己資本比率30%回復と
将来投資に備え一部は内部保留

※2023年11月10日付で公表されたブルーム1(株)による当社に対する公開買付けの開始予定を踏まえ、2024年3月期の期末配当は行いません。

投資計画イメージ (FY23-25)

合計比率





大学・社会人事業

ユーデミー

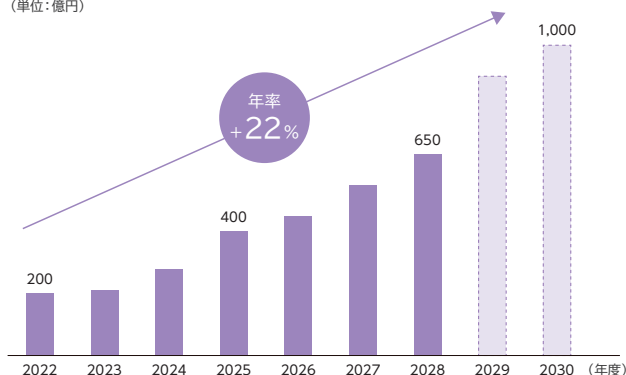
「Udemy」を起点とした新たな成長に挑戦します

社会の大きな変化に伴い、世界的に仕事の在り方や求められるスキルが大きく変容しています。また、日本においては少子高齢化による労働力人口の減少や人生100年時代の到来もあり「誰もが一生涯にわたり、学び・キャリアを構築できる社会づくり」への要請が高まっています。企業の人材投資の拡大や政府のリスキリングに対する投資の方針等が後押し、日本におけるリスキリング市場は 2030 年に向けて拡大していくと見込んでいます。このような中、当社グループでは大学・社会人事業を最大の成長領域と位置付けています。

当社グループの大学・社会人事業が目指しているのは、企業と個人のリスキリング支援とマッチングを一気通貫で提供する事業モデルの構築です。(株)ベネッセコーポレーションが日本で販売を手掛けているオンライン学習プラットフォーム「Udemy」は、現在、日本での導入社数が1,300社超、利用者数が140万人超にまで拡大しています。また、2023年度はスキルの可視化事業を行うSkyHive Technologies Holdings Inc.への出資や女性に特化した人材紹介・フリーランスマッチング事業を運営する(株)Warisのグループインを実現し、「Udemy」を中心としたラーニングを起点にリスキリング支援の体制を強化しています。今後も、M&Aや他社との提携を進め、事業モデルを強化することで、成長を目指します。そして、2030年度には、売上高1,000億円を目標としています。

大学・社会人事業の売上高計画

(単位:億円)

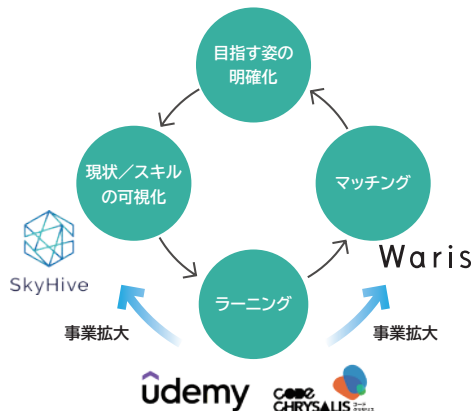


リスキリング支援+ マッチング

一気通貫で提供する事業モデル

現状/スキルの可視化への事業拡大

ラーニングを起点として、現状/スキルの可視化へと事業を拡大

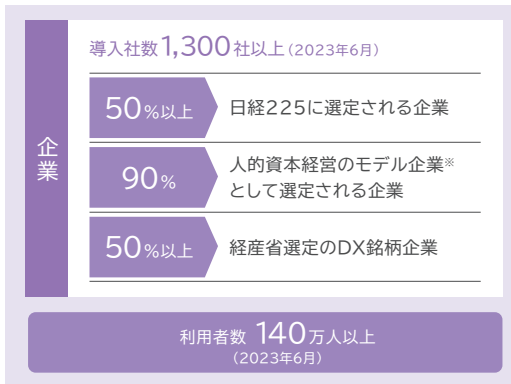




CHECK!

大学・社会人事業の詳細は、
Benesse Report 2023をご覧ください。

「Udemy」の国内顧客基盤



※経産省の「人的資本経営の実現に向けた報告書～人材版伊藤レポート2.0」の19社

マッチングへの 事業拡大

ラーニングに留まらず、
リスクリングを通じたマッチング
(採用・異動、就職・転職)へと
事業を拡大

日本初の「全国自治体 リスクリングネットワーク」を発足 ～全国76自治体が参加(2023年9月時点)～

(株)ベネッセコーポレーションは、日本初の自治体に特化したプラットフォームとして、2023年5月に「全国自治体リスクリングネットワーク」を発足させました。同ネットワークでは、自治体への事例共有や自治体間の情報交換を通じて、全国の自治体及び中小企業におけるDX推進や、市民のリスクリング推進を支援します。

5月にキックオフイベントを開催したほか、9月にオンラインで事例共有会を行うなど、定期的な情報交換の場を設けています。また、特設サイトやメルマガ配信を通して、各自治体の取り組みや専門家による最新情報を発信しています。



CHECK!

全国自治体リスクリング
ネットワーク

TOPICS

「たまひよ」創刊30周年 ～子育てをみんなで。30年先も～



CHECK!
たまひよ30周年
スペシャルサイト



(株)ベネッセコーポレーションが発行する妊娠・出産・育児雑誌『たまごクラブ』『ひよこクラブ』は、創刊30周年を迎えました。1993年、マタニティ・ベビー誌市場にそれまで存在しなかった、読者が主役の革新的な雑誌として2誌同時創刊し、「たまひよ族」という言葉が、この年の「新語・流行語大賞」表現部門の銅賞を受賞するなど、話題となりました。そして、雑誌に留まらず、オンラインやアプリ、通信販売、写真スタジオなど、出産・育児を取り巻くあらゆるシーンをサポートするまでにサービスを拡大してきました。また、30年間で育児への認識も大きく変化しました。創刊当時

は母親が育児の中心的な担い手でしたが、社会制度の整備が進む中、令和の育児観は、夫婦での子育てが浸透してきています。そこで、創刊30周年を機に、ブランドメッセージを「Enjoy 1000 days 生まれ、成長するあなたに『おめでとう』」にリニューアルしました。さらに、時代とともに変化する子育ての常識を知りたいという祖父母のニーズの高まりを受け、12月には、祖父母向け情報誌『孫ができたなら最初に読む本』を特別刊行します。

「たまひよ」はこれからも、赤ちゃんとは子育てに関わるすべての方の希望ある未来に向けて、その誕生と成長を祝福し続けます。

1993年



創刊号『たまごクラブ』『ひよこクラブ』

2023年



30周年記念号『中期のたまごクラブ』『中期のひよこクラブ』



新ブランドメッセージ



特別刊行『孫ができたなら最初に読む本』

会社概要

(2023年9月30日現在)

商号	株式会社ベネッセホールディングス (英文表記) Benesse Holdings, Inc.	
本社所在地	〒700-0807 岡山県岡山市北区南方三丁目7番17号	
創業	1955年1月28日	
資本金	13,857百万円	
取締役・監査役	代表取締役社長 CEO	小林 仁
	取締役	滝山 真也
	取締役	山河 健二
	取締役*1	福武 英明
	取締役*2 *4	岩井 睦雄
	取締役*2 *4	野田 由美子
	取締役*2 *4	高島 宏平
	取締役*2 *4	大西 賢
	常勤監査役	松本 芳範
	常勤監査役	齋藤 直人
監査役*3 *4	出雲 栄一	
監査役*3 *4	石黒 美幸	

*1 非業務執行取締役 *2 社外取締役 *3 社外監査役 *4 独立役員

株式の状況

(2023年9月30日現在)

発行済株式の総数	102,648,129株	
株主数	126,992名	
大株主 (上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)	16,936	17.55
efu Investment Limited	7,858	8.14
(公財) 福武財団	7,758	8.04
(株) 日本カストディ銀行	4,571	4.73
(株) 中国銀行	2,787	2.88
(公財) 福武教育文化振興財団	1,919	1.98
(株) 南方ホールディングス	1,836	1.90
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 中国銀行口	1,600	1.65
松浦 俊明	1,396	1.44
福武 美津子	1,375	1.42

(注1) 日本マスタートラスト信託銀行(株)の持株数には、福武英明氏が代表を務める資産管理及び投資活動目的の法人であるefu Investment Limitedが信託財産として拠出している当社株式6,809千株(持株比率7.05%)を含み、委託された信託財産の議決権行使に関する指図者は、efu Investment Limitedです。

(注2) 当社は自己株式6,163千株を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。

(注3) 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて記載しています。

所有者別株式分布状況



(注) 構成比率は小数点第3位以下を切り捨てて記載しています。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当受領株主確定日	3月31日
中間配当受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行(株)
特別口座口座管理機関	三菱UFJ信託銀行(株)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行(株) 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料) 土日祝日を除く平日9:00～17:00
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.benesse-hd.co.jp/ja/ 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

株式事務のお取り扱い

- (1) 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱い致します。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いします。

将来見通しに関する注意事項

本株主通信に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみには依拠して投資判断をされることはお控えいただきますようお願いいたします。

本誌・株式・配当に関するお問い合わせ先/IR部(岡山本社)

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方三丁目7番17号
TEL:086-225-1165(代表)



「Benesse Report 2023」を発行しました



ベネッセ オンライン統合報告書 **検索**

表紙写真:大竹伸朗《シップヤード・ワークス 船底と穴》1990年



《シップヤード・ワークス 船底と穴》は、大竹伸朗が愛媛県宇和島市にアトリエを移した後に制作した立体作品の一つです。1994年の「Open Air '94 "Out of Bounds"—海景のなかの現代美術展—」での展示を経て、ベネッセハウス ミュージアムのカフェの外に展示されています。

ベネッセアートサイト直島では、この作品のほか、直島に《シップヤード・ワークス 船尾と穴》、《シップヤード・ワークス 切断された船首》、家プロジェクト「はいしゃ」、直島銭湯「I♥湯」、豊島に「針工場」、女木島に「女根」などの大竹伸朗作品やアート施設を公開しています。

2023年12月1日発行

発行元:株式会社ベネッセホールディングス